

地域・風土に見合った自然エネルギーとは



ドイツ・スイス・多古町の事例から学ぶ「持続可能な社会」



「太陽光発電は自然エネルギーなのに、なぜ反対？」という声がありますが、地域の自然や風土を無視した乱開発につながり、大きな問題になっています。一方で地域の暮らしをゆたかにする方向の取り組みもあります。

講師：竹盛智敬さん (千葉県多古町旬の味産直センター 総合産直課課長)

日時： **2018年5月27日(日)14時30分～16時30分**

会場： 東京ウィメンズプラザ第一会議室

参加費：500円(会員無料)

講師紹介

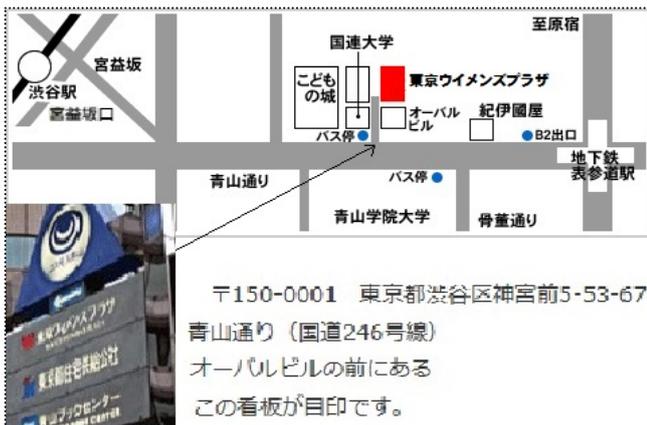
千葉県多古町で産直運動を通して国民の主食を守る農政をめざし運動。「3・11」の原発事故後、ドイツ、スイスを視察、「地域・自然と調和した自然エネルギーのまちづくり」を推進。海外の動向とともに多古町旬の味産直センターの「わたしのでんき」の紹介もして下さる予定。

ほんとうに地域の人と自然に見合った自然エネルギーとは？

考えてみませんか！



* 平塚らいてうの会総会(13時～14時20分)終了後同一会場での開催です。
会員の方も会員以外の方もどうぞふるってご参加ください。



東京ウィメンズプラザはこちら
(渋谷駅 宮益坂口徒歩12分、地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅下車 B2出口 徒歩7分)

NPO法人 平塚らいてうの会
TEL/FAX 03 - 3818 - 8626
<http://raichou.c.ooco.jp/>